

# の思い——片岡ちとせ

## 2 ジェンダー平等、人権尊重 ——多様性を認め合う社会に変えたい

コロナ危機で、日本のジェンダー不平等が浮き彫りになりました。働く女性の6割近くが非正規雇用ですが、飲食業などで多くの女性が職を失っています。さらに、男女の賃金差別、障害者やLGBT、ヘイトスピーチなど、差別、偏見、排除をなくし、誰もが人として認められる社会にしたい思いでいっぱいです。



区政では  
パートナー制度を  
早期に実現したい

お隣の江戸川区や足立区では、すでに実現しています。足立区はパートナー・ファミリーシップ制度まで進んでいます。

## 3 将来世代に豊かな 地球環境を残したい

政府の気候変動対策は、石炭火力発電所に固執し、世界の流れに逆行です。いま止まっている原発も再稼働させる計画で、事故の反省は全くありません。今こそ、太陽光、風力などの再生可能エネルギーと省エネを組み合わせ世界に気候変動に対応すべきです。

区政では  
再開発ビル中心から、  
農地など身近な自然を守り  
みどり豊かな街にしたい



- 片岡ちとせさんは、差別を許さず、みんなを包み込む暖かい人です。
- 私に倍するご支援、よろしくお願いします。
- 日本共産党 都議会議員 和泉なおみ



### 片岡ちとせ プロフィール

- 1973年2月、埼玉県浦和市生まれ
- 父の転勤で幼稚園、小学校2年生まで広島市で過ごす
- 埼玉県春日部市に引っ越し県立春日部女子高校卒業
- 文化服装学院に進学卒業後、千葉県柏市内のアパレル補整会社に就職
- 1997年にアメリカ、ニューヨーク市内の支店に転属
- 2001年9・11テロに遭遇し2004年に帰国
- アルバイトや派遣社員で働きながら、戦争法反対集会やヘイトスピーチのカウンターなどに参加。日本共産党に会い入党
- 2010年に損保代理店に就職し2020年9月退職
- 2011年から葛飾区に居住
- 現在、党葛飾地区ジェンダー平等推進担当
- 趣味は裁縫、三線など
- パートナーと同居中。選択的夫婦別姓が実現したら入籍予定



声を上げれば  
政治は変わる!



葛飾民報 2021年9・10月号外 葛飾民報社 / 葛飾区南水元2-24-12 / ☎3697-2101  
日本共産党葛飾地区委員会の見解と活動を紹介しします。



# 片岡ちとせ

kataoka chitose

日本共産党

党地区ジェンダー平等推進担当  
区議予定候補

2021

11・7

区議選

“普通に暮らしたい”  
思いを区政に届ける

コロナからのち・  
暮らし守りたい

ジェンダー・平等、  
差別のない社会を

# 区政にのぞむ私の3つ

## 1 いのち・暮らしを守れない コロナ対策を変えたい

自宅療養中に亡くなるなど救える命が救えない自民・公明政権のコロナ対策。政治が本気になれば、臨時医療施設を作ることができないはずはありません。病院や保健所を減らしてきた政治を変え、パンデミックに対応する政治に変えます。



区政では  
区役所の移転・建替えより  
コロナ対策に全力を

現区長と自民・公明などは、まだ十分使える区役所を立石駅の再開発ビルに移転・建替えて660億円もの税金を使おうとしています。区民合意もなく、税金の使い方も間違っています。いつでも、誰でも、無料で受けられるPCR検査や保健所の拡充、生活や事業の支援などコロナ対策を優先すべきです。



世代交代でバトンタッチします

区議会議員 おりかさ明実

人間らしい  
働き方を





# kataoka chitose story 片岡ちとせストーリー ここがターニングポイント

**その1** 28歳、ニューヨークで同時多発テロに遭遇

3人兄弟の長女としてサラリーマン家庭に生まれました。小学校、中学校、高校とごく普通に過ごし、20歳ごろからぼんやりと海外に憧れが生まれ、ニューヨークに支店を出す予定だったアパレル関係に就職。24歳でニューヨーク支店に転属し現地にも溶けこみ永住申請もしました。ところが、28歳の2001年9月11日に同時多発テロに遭遇。



「職場の大先輩、時田さんと」

**戦争一色に染まる中で、日本人として住むことが怖くなり帰国**

アメリカ中がアフガニスタンへの報復戦争一色に染まっていくなかで、外国人である自分は、ひっそり生きなければいけない不安に悩み、永住申請も取り下げ2004年に帰国。



**その2** 帰国後、派遣社員から、やっと正社員へ

帰国後、アパレルでのアルバイトやIT企業での派遣で働き、いつか沖縄でも働きました。東京でひとり暮らしを始めましたが、低賃金で生活も大変で将来も不安になり早く正社員になりたいと思っていました。

**男女の賃金格差の解決へ動き、月2~3万円の賃上げが実現**

2013年に、やっと正社員になりました。社員の7割が女性で、昼休みの話題も「給料が安い」など声があり、正社員の私も手取り15万程度でした。そんな時、たまたま、私が社員代表になり、「賃金をあげてほしい」「安心して長く働ける職場にしたい」などの声を届け交渉しました。その結果、月2~3万の賃上げが実現しました。



**その3** 戦争法、ヘイトスピーチ、原発再稼働……。自分で勉強し「おかしい」「許せない」と毎週、国会へ

2014年に、集団的自衛権行使の閣議決定が行われ、2015年には戦争法(安保法制)が強行されました。このニュースを聞いた時に、ニューヨークの同時テロで感じた恐怖がよみがえり、今の政治に疑問がわきました。仕事帰りに国会前集会などに参加するようになりヘイトスピーチに抗議するカウンターを知り、参加するようになりました。



**日本共産党の一貫した戦争や原発再稼働反対の歴史や姿勢を知り入党**

国会集会などでの各政党のスピーチを聞く中で、日本共産党の言っていることが一番、自分の考えに近いとシンパシーを感じてきました。戦争にも原発再稼働にもキッパリ反対してきた歴史、立場を貫いていることに心を動かされ入党しました。

**その4** 地域の声が届ける議員になりたいと区議予定候補に

住民に一番身近な区政から、自分がこだわってきた「誰もが差別なく人間らしく生きられる社会に変えたい」と区政挑戦を決意し、地域の声が届ける活動に全力をあげています。

**1** 子どもが安心して育っていける環境を  
妊娠・出産費用助成・保育園、幼稚園、学童保育、児童館などの存続と拡充・プール廃止計画の見直し。

**2** ひとり親、大学生、非正規雇用など生活困窮者への支援  
フードバンクなど食料支援を行う団体への支援。シングル・若者向け区民住宅の新設。

**3** ジェンダー平等の推進と差別行為の禁止を  
パートナーシップ制度の実現、LGBTs支援、女性の生活支援、移住者も安心して暮らせる包摂的なコミュニティ作り。

**4** 高齢者が安心して暮らせる応援を  
特養老人ホームの増設、バス路線など移動手段の充実、堀切橋のバリアフリー化。

**5** 環境保全と震災対策の強化を  
都市農業や地産地消への支援、京成線荒川橋梁架け替え促進と、堤防の補強。河川監視カメラの増設。



## 片岡ちとせさんはこんな人です

**友人** ハンパない行動力が大好き  
中学2年生以来、34年の長い付き合いですが、彼女の行動力がハンパないところが大好きで尊敬しています。その行動力で身近な問題を解決してくれるにちがいありません。  
(中学時代の友人 S.Yさん)

**同級生** フットワークの良さ  
片岡さんの興味をもってやりたい!と思ったこと、すぐに行動に移せるフットワークの良さ。出会ったところから変わります。その行動力を地域の人々の為に発揮して下さい!  
(高校時代の同級生 S.Rさん)

**カウンター行動** 全ての区民のために働ける人  
片岡さんとは、ヘイトスピーチへのカウンター行動で一緒に働きました。葛飾区の全ての人のために、反差別を掲げる彼女は、しっかり働いてくれると確信しています。  
(横浜市在住 T.Nさん)

**相談** 不平等、不公平を変える人  
コロナ禍で夫の会社が倒産し、小さな子ども2人との生活が不安だった時、相談に乗ってくれたのが片岡さんです。嬉しかったです。他者を思いやる優しい人です。  
(堀切在住 T.Aさん)

## 総選挙 日本共産党 市民と野党の共同で政権交代を実現し、国民のための新しい政治を

比例代表

筈井 亮	谷川 智行
宮本 徹	坂井 和歌子
池内 さおり	細野 真理

小選挙区 東京17区  
新井 杉生

制度解説 衆議院選挙は2回投票します

1回目 小選挙区	2回目 比例代表
----------	----------

「候補者名」で投票 「政党名」で投票

ポイント 比例代表は「日本共産党」の投票数が多いほど、共産党国会議員の当選者数が増えます。候補者名で書くと、【無効】になります